



ちゅうりっぷ組だより <3月号>



平成29年3月 日 ときわ保育園 担当: 野口

一段と春の気配が感じられるようになり、ぽかぽか陽気に誘われて子ども達も活発に動き、遊びを楽しんでいます。早く外に出たくて自分で靴から帽子を出したり、靴を履こうとします。そして大好きなアスレチック遊具へと走り出し、難しいロープの竹も、手・足をしっかり使い、登ったり、渡ったり出来るようになり、成長が感じられます。



最近、友達との関わりが多く見られるようになってきました。ままごと遊びで、ゴッポと自分よりも小さい友達の口に持って行き、「おいしい？」と首をかしげ、顔を覗くように聞いたり、嬉しそうに友達と手をつなぎ、部屋中を歩いていきます。又、固定遊具でかくれんぼをしているように、上と下で「ばあ」と顔を出した後、「タッチ」と手を出し、手を合わせると、ニッコリ笑顔になります。このような姿が とても微笑ましく感じられ、関わりを大切にしていきたいと思います。



生活の中では、自分でやってみようとする意欲が見られ、トイレに行くとズボンやオムツを自分で着脱しようとし、排尿出来るようになったり、遊んだ後は、両手でたくさんのおもちゃを抱えて、片付けています。いろいろな面で「自分でやろう」とする気持ちを受け止め、進級まで後輩かですが、元気に楽しく過ごせるよう、一つひとつの喜びや小さな発見を共感していきたいです。一年間、ご理解、ご協力いただき、おかげさまでございました。